

よいことの
ために
手を取りあおう



よいことのために手を取りあおう

UNITE FOR GOOD.

R I 会長 フランチェスコ・アレッソ 第 2590 地区ガバナー 大塚 正一

第 2646 例会 令和 7 年 9 月 12 日 2025-2026 年度 (第 10 号) 会報編集 宇野 穂

司 会

山内敏行 SAA

合 唱

我らの生業(SL 福井会員)

ゲ ス ト

鈴木聰美さん(R 財団奨学生)

ビ ジ タ ー

大塚正一様

(第 2590 地区ガバナー川崎北 RC)

会長挨拶

宮田彰久様

(第 2590 地区ガバナーエレクト)

横浜南 RC)

相澤史人会長



先週土曜は昨年から計画しておりました、地区補助金で申請した草刈り機がようやく納品となり、地域の方々に贈呈することができました。

今回大型草刈り機を使用できることで、公園が広々と使いやすくなると思います。

私はこの近くに住んでおりまして、子供が小さい時連れて行ったり、犬の散歩に立ち寄ったりとよく使用させていただきました。

地域住民としても感謝いたします。

また日曜日はポリオデーイベントが横浜市役所、1階のアトリウムで開催されました。ポリオは今世界で 99% 撲滅しているのですが、のこりわずか 1% の撲滅のために努力しているとのことです。

その他のイベントとしては小中高校生のダンスや一輪車のパフォーマンスなど、13 時から 17 時まで行われました。

ポリオ撲滅を訴えるポスターですが、これをそのまま次回の瀬谷フェスティバルに使えるということです。

来週は敬老週間ということで少し触れたいと思います。

今日本全体では 29.1% の高齢化率と過去最高となり、今後も記録は更新しそうです。

ささやかながら私の施設でも、15 日は敬老会のイベントを考えています。今年は 100 歳超えの方が 5 名と過去最高となりました。最高齢は 104 歳です。100 歳を超えた方はとても 100 歳には見えないです。

出席報告 大谷高出席リーダー

会員総数	出席会員	欠席会員	今回出席率	前々回修正率
27名	22名	4名	84.62%	96.65%

第 2590 地区横浜瀬谷ロータリークラブ 2025~2026

会長 相澤 史人

会長エレクト 相澤 隆二

〔例会場〕横浜市瀬谷区ニツ橋町 309-1

幹事 鈴木 典子

会報委員長 宇野 穂

(e モール 2 F 会議室)

例会日 毎週金曜日

〔事務所〕横浜市瀬谷区ニツ橋町 309-1

点鐘 12 時 30 分

(e モール 2 F)

80代と言ってもおかしくはないほどお元気です。100歳まで生きる人というのは、一般の方とは何かが違うのではないかと思ってしまいます。

幹事報告 鈴木典子幹事



皆さん、こんにちは。幹事報告させていただきます。

【定例理事会報告 9月5日】

<議題>

①旭ロータリークラブとの合同例会について
横浜旭ロータリークラブより、2026年2月25日の合同例会の時間と内容を変更し、元プロ野球選手のラミレス氏を招待して300人規模のイベントにしたいとの打診があった。当クラブとしては、お互いの懇親を深める目的の例会ではなくなることからお断りする事とした。

②柳沼会員への地区ラーニング委員長委嘱の件
地区より、柳沼会員に対して、2025-26、2027-28の2年任期での「地区ラーニング委員長（地区ラーニングファシリテーター）」としての委嘱状が届いた。理事会として確認をした。

③地区大会昼食について

11月8日（土）の地区大会の点鐘時間が早まることから、当日は各自で昼食をとってから集合とする。

④瀬谷フェスティバルの協賛金について

瀬谷フェスティバルの協賛金を例年通り10万円とする。

⑤タウンニュースへの協賛について
タウンニュースの9月18日号「防犯・交通安全特集」に、今年も瀬谷クラブとして協賛を行う。

ガバナー事務所からの連絡

1. 2025-26年度地区委員長委嘱状が届き、相澤会長より手渡されました。

地区ラーニング委員長（地区ラーニングファシリテーター）=柳沼芳光会員

2. 『2026-27年度 ロータリー青少年交換学生応募期間変更のお知らせ』が届いています。

変更前：8月13日（火）～10月3日（金）

変更後：8月13日（火）～10月7日（火）

3. 『第54回 ロータリー研究会と関連行事へのお誘い』が届いています。

日程：11月17日（月）～20日（木）

※『第60回 神奈川県ロータリアン親睦テニス会』の案内が届いています。

※阿久和大久保原公園愛護会の皆様より、草刈り機寄贈のお礼状が届いています。

例会予定のお知らせ

横浜南RCより届いています。

祝行事 相澤史人会長



おめでとうございます

誕生記念 山内敏行会員 9月1日

石山健人会員 9月7日

ニコニコ BOX 佐々木洋一親睦活動リーダー

大塚正一ガバナー 本日はよろしくお願いします。鈴木聰美さん、素敵な一年を。

宮田彰久ガバナーエレクト 本日は鈴木聰美様の卓話を楽しみにやって参りました。瀬谷RCの皆様にはいつも大変お世話になっています。

相澤史人会長・鈴木典子幹事 大塚ガバナー、宮田ガバナーエレクト、いつもお世話になっております。本日もよろしくお願ひします。
鈴木聰美さん、本日の卓話を楽しみにしております。よろしくお願ひします。

露木雄二会員 大塚ガバナー、宮田ガバナーエレクト、瀬谷ロータリーへようこそ。お待ちしておりました。
鈴木さん卓話宜しくお願ひ致します。

柳沼芳光会員 鈴木聰美さん、楽しい一年を!! 良い経験ですね。

大塚G、宮田GE、ようこそ!! 皆さん、チャリコンもよろしく!!

依田紀久子会員 大塚ガバナー、宮田ガバナーエレクト、瀬谷ロータリーによこそいらっしゃいました。

石山健人会員 誕生記念ありがとうございます。

山内敏行会員 誕生記念ありがとうございます。飲み過ぎに注意し、健康第一で頑張ります。

ニコニコ会計報告

ニコニコ 8 件 19,000 円 累計 2,858,675 円



委員会報告

阿久和大久保原公園愛護会 相澤正見会員

おかげさまで、草刈り機の贈呈式も滞りなく終わりました。当日ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。阿久和大久保原公園愛護会の皆さんもとても感謝していました。

R 財団奨学生卓話



R 財団グローバル奨学生 鈴木聰美さん

～誰もが自分らしく生きられる社会の実現に向けて～

皆様こんにちは。

本日は卓話の機会をいただきありがとうございます。

今回は、改めて私の自己紹介と留学の目的についてお伝えできれば幸いです。

今年の3月に慶應義塾大学商学部を卒業し、この秋からイギリスのロンドン・スクール・オブ・エコノミクスに進学いたします。

専攻は「ジェンダー、政策と不平等」という修士課程で、経済学とジェンダー学を軸に学びます。特技は生け花で、中高6年間お稽古に通っていました。

大学に入ってからはダンスサークルに所属しダンスを楽しみました。

家族は父・母・姉と私の4人家族で、猫も大好きです。イギリスでの派遣先は、ロンドン近郊にある「The Rotary Club of the Studios & Elstree and Borehamwood」で、カウンセラーのSamさんをはじめ、多くの方々にサポートいただく予定です。

今回の留学の目的は、ジェンダー格差是正を目的とした政策の設計方法を学び、誰もが性別にとらわれず自分らしく生きられる社会の実現に貢献することです。

きっかけは高校時代の文理選択における後悔が始まります。

もともと理系に興味があったのですが、「女性に理系は少なく苦労する」というジェンダーバイアスから文系を選択しました。

その後、あのとき理系を選んでいたらどうなっていたのだろうかと振り返り、自分の可能性を自ら制限してしまったことに後悔を覚えました。それからジェンダーバイアスやジェンダー格差といった問題に興味を持つようになりました。その後、大学での研究を通じて日本社会に根強く存在する構造的なジェンダー格差を目の当たりにしました。

例えば、長時間労働といった日本の雇用慣行が男女の賃金格差の原因であるということを学び、問題意識を持つようになりました。

さらに海外での学びを通じて、他国のジェンダー格差が日本よりも深刻であることを知り、海外のジェンダー格差にも意識を向けるようになりました。このような経験を通じて、性別が原因で個人の可能性を狭めてしまうことへ疑問も抱くようになりました。

日本では依然として大きなジェンダー格差が存在しています。たとえば男女の賃金格差は約25%、国会議員に占める女性の割合は19%にとどまっています。

また世界経済フォーラムが発表するジェンダーギャップ指数では、148か国中118位という低い順位です。

こうした数値が示すように、日本ではまだまだ性別が個人の可能性を制限してしまう状況が残

っているため、誰もが自分らしく生きられるような社会の実現に貢献したいと考えています。留学先では、ヨーロッパ諸国の育児休暇政策や女性活躍推進政策、ジェンダーと人権、福祉制度との関係などを幅広く学びます。

LSEのジェンダー学研究所はこの分野の第一線であり、教授陣の研究や政策提言の実践を直接学べる点に大きな魅力を感じています。

修士課程修了後は、教育や職業訓練に関する専門性を高め、将来的には教育・労働とジェンダーの専門家として各国政府と協力しながら政策立案に携わりたいと考えています。

10年後、20年後には国際的な舞台でジェンダー平等推進に取り組むことを目指しています。

最後に、奨学生として与えられた1年間を充実したものとし、精一杯努力してまいります。

留学を目前にして、皆様から留学を応援していただることは当たり前ではなく、とても貴重なことであると切に感じております。

いただいたご恩をお返しし、世界平和の一助となれるよう留学先でもまい進してまいります。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

